

平成二十八年年度特別展

幕末の 知識人の交流

— 阪谷朗廬を中心に —



阪谷朗廬肖像((学)興讓館高等学校所蔵)



関藤藤陰作製「蝦夷探查図絵」(広島県立誠之館高等学校所蔵)

平成28年10月22日(土)~12月4日(日)

開館時間 = 午前9時 ▶ 午後5時

休館日 = 月・木曜日 (11月3日開館、4日休館)

入館料 = 無料

井原市芳井歴史民俗資料館

〒714-2111 岡山県井原市芳井町吉井4110-1 TEL 0866-72-1324

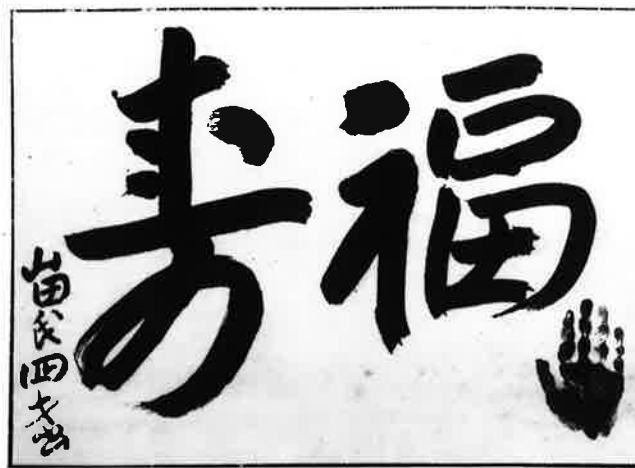
E-mail y-rekishi@city.ibara.okayama.jp

平成28年度特別展

幕末の知識人の交流

—阪谷朗廬を中心に—

阪谷朗廬(さかたにろうろ)は文政5年(1822)生まれで明治14年(1881)に亡くなった、幕末の井原地方を代表する知識人である。幼少より青年期まで大坂の大塩平八郎、江戸の昌谷精溪(さかやせいけい)、古賀何庵(こがとうあん)などに学び、後月郡築瀬村に桜溪塾(おうけいじゅく)を開いた後、嘉永6年(1853)に同郡西江原村の郷校興譲館に初代館長として迎えられた。朗廬は郷里で教育に専念しつつ、福山藩の関藤藤陰(せきとうとういん)、備中松山藩の山田方谷、公家の大原重徳(おおはらしげとみ)、長州藩の久坂玄瑞など様々な立場の人々と交流した。この度の展示では多くの知識人との交流を通じて、政情・世情についての見識を深めていった阪谷朗廬を中心に、幕末を振り返りたい。



山田方谷揮毫奉納額「福寿」(足次山神社所蔵)



阪谷朗廬書「寿大原源老公七十」(学)興譲館高等学校所蔵



阪谷朗廬書「朗廬先生真筆月在檀古寺」(学)興譲館高等学校所蔵



交通案内 (井原線/井原駅から)

- 車・タクシー: 10分
- バス: 井原バスセンターより北振バス芳井方面 15分、芳井支所前下車 徒歩10分
- 自動車: 山陽自動車道笠岡ICより県道34号線を 35分



井原市ホームページ <http://www.city.ibara.okayama.jp>

井原市芳井歴史民俗資料館

〒714-2111 岡山県井原市芳井町吉井4110-1 TEL 0866-72-1324